

CASBEE®新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1. 建物概要

建物名称	(仮称)特別養護老人ホーム藤花・市之瀬 (仮称)市之瀬こども園 複合施設	
建設地	新潟県新潟市秋葉区	
用途地域	用途指定なし	
建物用途	学校,病院,	
竣工年	2020年2月 予定	
敷地面積	5,237.98 m ²	
建築面積	2,285.18 m ²	
延床面積	2,239.39 m ²	
階数	地上2F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2019年8月21日	

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{46.3}{38.5} = 1.2$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	3.0		バリアフリー計画	Q2.1.1.3 3.0
			維持管理	Q2.1.3 3.0
			設備の更新性	Q2.3.3 3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	2.8		耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1 3.0
			信頼性	Q2.2.4 2.6
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1 3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	4.0		建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1 5.0
			自然エネルギー利用	LR1.2 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.0		節水	LR2.1.1 4.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4 3.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6 5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	2.0		生物環境の保全と創出	Q3.1 2.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2 2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	3.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2 3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1 3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

新潟市の重点項目に関する配慮事項を記載してください。

- 長寿命の取組み: 庇を設置し外壁材の劣化を抑制している。
- 新潟のまちなみへの取組み: 建物の高さを抑え、住宅地+田畑等である周辺環境との調和を図った。

CASBEE[®]新潟

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	仮称特別養護老人ホーム藤花・市之瀬(仮称市之瀬こども園 複合施設)	階数	地上2F
建設地	新潟県新潟市秋葉区	構造	S造
用途地域	用途指定なし	平均居住人員	130人
地域区分	5地域	年間使用時間	9,000時間/年(想定値)
建物用途	学校・病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年2月 予定	評価の実施日	2019年8月21日
敷地面積	5,238㎡	作成者	武田昌和
建築面積	2,285㎡	確認日	
延床面積	2,239㎡	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%
②建築物の取組み 78%
③上記+②以外の 78%
④上記+ 78%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
老人福祉施設とこども園の複合化により、単独の施設として整備するよりも機能の共有・多機能化を図ることができ、高齢者や園児に多様な居住環境と保育環境を創出するとともに、施設を友好的に活用できるよう計画した。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
入居者が利用する居室には十分な遮音性能を持たせる計画とした。	居室の天井高さを2.4m以上確保し、10㎡/床以上とすることで、快適性の向上に努めた計画とした。	建物を平屋+一部2階建てとすることで、周辺の住宅地や田畑等の中でも突出しない高さ(景観)計画とした。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
空調エリアは複層ガラスを採用し、建物の省エネルギー化を図っている。	リサイクル材料の採用に努めるとともに、有害物質を含まない材料を使用する計画とした。	夏季の卓越風に配慮した配置計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される